

2012年5月30日（水）

大学院総合科目

合意形成学

猪原担当回 レポート課題

【レポート課題】

本講義の教科書『合意形成学』（猪原健弘編著、勁草書房、2011年）の第5章「合意と合意形成の数理－合意の効率，安定，存在」の内容と、5月30日の講義内容を参照しながら、次の3点について述べよ。

- (1) 書籍「合意形成学」の第6章と、5月30日の講義内容のまとめ。
- (2) 「満場一致による決定」の特徴。
- (3) 猪原担当回、講義全体についての感想。

ただし、(2)については、合意形成の手段としての「満場一致による決定」の特徴に関して、特に「多数決による決定」との比較を行い、「満場一致による決定」の利点・欠点を述べよ。

分量は、A4 要旨で3枚程度（3,000字程度）とする。

【問い合わせ先】

- ・ 猪原健弘（東京工業大学大学院社会理工学研究科価値システム専攻）
- ・ 教員室：西9号館E棟8階813号室
- ・ 電話：03-5734-3366（内線3366）
- ・ E-mail：inohara_at_valdes.titech.ac.jp（_at_を@に変更）